

事例6 離れた場所でも鑑賞し合い、思考力、判断力、表現力等の育成をねらった事例

○学年 第5学年

○主な領域 造形遊びをする活動

○事例のポイント

①空間を変化させる過程で、友人同士の共同学習が生まれる。

②校内の様々な場所を舞台とした活動を生かし、他の児童や教職員、保護者などに広く鑑賞してもらう機会を設定する。

ICTを活用した主な学習場面

・離れた場所で児童が活動する場面

ICT活用の利点

- ①活動前後の場所の変化をICT端末で写真を撮り、学習過程を学習支援アプリに記録することで、児童が学習活動を振り返ることができる。
- ②離れた場所で活動するグループ同士を、学習支援ソフトのウェブ会議機能を活用して繋げることで、空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報共有ができる。
- ③活動場所にICT端末を設置し、活動の様子を動画で撮影することで、離れた場所で活動する児童の学習過程を教師の評価に生かすことができる。

1 題材名 「ビニルひもで 空間ビフォーアフター」

【第5学年】A表現(1)ア、(2)ア、B鑑賞(1)ア、〔共通事項〕(1)ア、イ 造形遊びをする活動

2 題材について

- (1) 児童の実態 (略)
- (2) 本題材を指導するに当たって (略)

3 目標及び評価規準 (※〔共通事項〕(1)ア、イはア_____、イ_____で示す。)

(1) 題材の目標

- ・自分の感覚や行為を通して、形や色、場所や空間などの造形的な特徴を理解する。
- ・ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変える活動を通して、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表したい空間になるようビニルひもの使い方などを組み合わせたりして、活動を工夫してつくる。
(知識及び技能)
- ・ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変える活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。
- ・自分たちの活動によって生まれた空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
- ・形や色、場所や空間などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・ビニルひもで空間を変化させる活動に主体的に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

(2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 自分の感覚や行為を通して、<u>形や色、場所や空間</u>などの造形的な特徴を理解している。</p> <p>技 <u>ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変える活動</u>を通して、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、<u>表したい空間になるようビニルひもの使い方</u>などを組み合わせたりして、活動を工夫してつくっている。</p>	<p>発 <u>形や色、場所や空間</u>などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑 <u>形や色、場所や空間</u>などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、<u>自分たちの活動によって生まれた空間</u>の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態 つくりだす喜びを味わい、主体的に<u>ビニルひもで空間を変化させる活動</u>に取り組もうとしている。</p>

※それぞれの評価規準は「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を、そのまま使用したり、具体的な学習活動を踏まえ言葉を省略や変更したりするなどしている。（下線部は変更箇所）

4 指導と評価の計画（全2時間扱い）

○：指導に生かす評価、◎：全員の学習状況を記録に残す評価

時間	学習のねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等					備考
		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		知	技	発	鑑	態	
1	<p>・選んだ場所の壁や床などをビニルひもでつないで「いい感じ」と感じられる空間に変化させていく。</p>	◎		◎			<p>「知識・技能（知識）」は、ビニルひもの形や色、場所や空間の特徴を理解しているかという視点で評価する。</p> <p>「思考・判断・表現（発想や構想）」は、形や色、場所や空間の特徴から自分のイメージをもち、どのように活動しているかという視点で評価する。</p>

2	<ul style="list-style-type: none"> 空間の変化を基に、ビニルひもや空間の特徴を生かして、さらに活動を広げていく。 活動によって変化した空間のよさや美しさについて鑑賞し、自他の活動のよさを味わう。 	◎	◎	◎	◎	<p>「知識・技能（技能）」は、ビニルひもや場所の特徴から得た知識を基に、それらの形を変えたり組み合わせたりして活動しているかという視点で評価する。</p> <p>「思考・判断・表現（鑑賞）」は、実際に空間の中に入るなど、自分の見方や感じ方を広げているかという視点で評価する。</p>
		◎	◎	◎	◎	

5 本時の学習（本時 1・2 / 2時）

- (1) 目標
- ビニルひもの形や色、場所や空間の特徴を理解していると共に、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表したい空間になるようにビニルひもの使い方などを組み合わせたりして活動を工夫している。〈知識及び技能〉
 - 形や色、場所や空間などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子から考えたりしながら、どのように活動するかについて考える。
 - 形や色、場所や空間などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら自分たちの活動によって生まれた空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして自分の見方や感じ方を深める。
〈思考力, 判断力, 表現力等〉
 - つくりだす喜びを味わいビニルひもで空間を変化させる活動に主体的に取り組む。
〈学びに向かう力, 人間性等〉



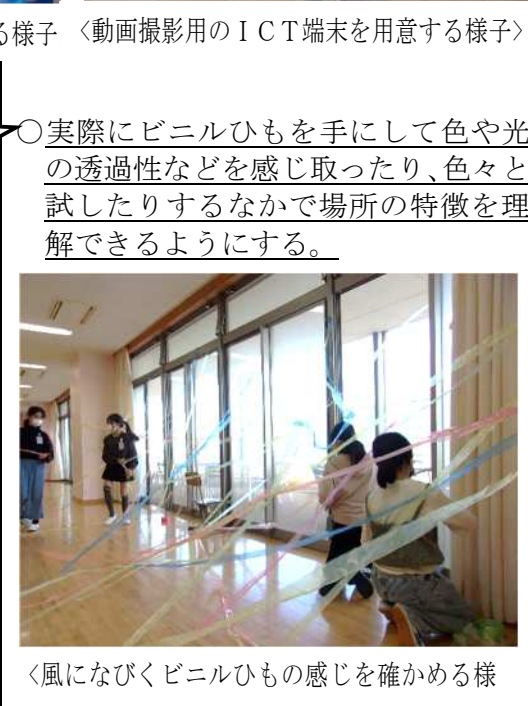
(2) 準備

○教師：ビニルひも（赤・青・黄・若草・橙の5色×4～6グループ）、ゴミを入れる袋、ICT端末

○児童：はさみ、セロハンテープ、ICT端末

(3) 展開



過程時間	学習活動 予想される児童の 具体的な姿（「」）	指導の工夫 （〔共通事項〕に係る内容 ア____、イ_____）	評価と手立て 【観点】：評価規準（評価方法） ◎：十分満足できる状況 ◆：B評価に達しない児童への手立て
導入 5分	1 本時のねらいを知り、活動の見通しをもつ。	○事前指導で題材名を知らせ、活動する場所を選択し、グループを予め組んでおく。	
	<p>提案 ビニルひもを使って、「いい感じ」な空間をつくろう。</p> <p>「ビニルひもが風でひらひらしている感じ。」 「わくわくする感じがいいな。」</p>	○どのような空間なら「いい感じ」に感じるか、児童の考えを聞く。	

	<p>「通った人が、明るい気持ちになる空間にしたいな。」</p> <p>2 安全に関する注意、活動上の約束、活動終了時間を知る。</p>	<p>○高い場所にビニルひもを貼る場合は、椅子1つ分までの高さとする。<u>活動場所を傷つけることがないよう、画鋸などは使用せずにセロハンテープで接着を行う。</u>また、通路を選んだ場合は、活動後も鑑賞のためにビニルひもを残すことを考え、<u>通行の妨げにならないよう配慮して活動することを伝える。</u></p>	<p>編 P111 指導計画の作成の留意事項(8)</p>
<p>展開 70分</p>	<p>3 グループごとにビニルひもを使い、ビニルひもや、場所や空間の特徴を生かして「いい感じ」と感じる空間をつくる。 「窓を開けて風を入れてみよう。」 「海の中みたいな空間ができそう。」</p>	<p>○活動前後の空間の変化を振り返れるよう、活動前にICT端末を使って場所の写真を撮影して<u>学習支援アプリ(スクールタクト)</u>に記録する。</p> <p>○場所ごとにICT端末を設置し、活動の様子を動画で撮影することで教師の評価に生かす。</p> <p>○場所ごとにウェブ会議機能(Google Meet)でつなぎ、それぞれの活動の様子をお互いに鑑賞しながら活動できるようにする。</p>	<p>【知・技】自分の感覚や行為を通して、形や色、場所や空間などの造形的な特徴を理解している。(観察・対話・表現)</p> <p>◎：ビニルひもの透過性と場所の特徴に気が付き、それを効果的に表す方法を試しながらつくっている。</p> <p>◆：ビニルひもの色や光に透ける感じなど、造形的な視点に注目するよう助言する。</p>
<p>ICT活用の利点①</p> 	<p>ICT活用の利点②</p> 	<p>◎：材料や場所、空間の特徴から自分のイメージを膨らませて、活動を広げている。</p> <p>◆：どのように活動するか、友人と相談するよう促す。</p> <p>【知・技】ビニルひもの形や色、場所の特徴を理解していると共に、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表したい空間にな</p>	
<p>↑ 行き戻り ↓</p> <p>4 同じ場所で活動する友人と関わったり、ウェブ会議機能(Google Meet)から見える離れた場所で活動する様子を見たりして、自分たちの活動を広げる。 「他のグループ、けっこう高い位置にビニル</p>	<p>○実際にビニルひもを手にして色や光の透過性などを感じ取ったり、色々と試したりするなかで場所の特徴を理解できるようにする。</p> 	<p>◎：実際にビニルひもを手にして色や光の透過性などを感じ取ったり、色々と試したりするなかで場所の特徴を理解できるようにする。</p> <p>○実際にビニルひもを手にして色や光の透過性などを感じ取ったり、色々と試したりするなかで場所の特徴を理解できるようにする。</p> <p>○実際にビニルひもを手にして色や光の透過性などを感じ取ったり、色々と試したりするなかで場所の特徴を理解できるようにする。</p>	

〈離れた場所の友人の活動を見ている様子〉 〈動画撮影用のICT端末を用意する様子〉

編 P111 指導計画の作成の留意事項(2)

〈風になびくビニルひもの感じを確かめる様

	<p>ひもを貼ってるな。試してみよう。」</p> <p>事例のポイント①</p> <p>編 P111 指導計画の作成の留意事項(6)</p>	<p>○ビニルひもや場所や空間の特徴を基に自分のイメージをもち、友人と協力し合ってビニルひもを壁に貼ったり形を変えたりしていく。</p>  <p>〈協力することで生まれる友人との共同的な学び〉</p> <p>○児童が自信をもって活動でき、他グループの活動のよさにも気付けるように、教師もマイク機能を使って適宜発言し、児童の活動を称賛する。</p>	<p>るようにビニルひもの使い方などを組み合わせたりして、活動を工夫してつくっている。</p> <p>(観察・対話・表現)</p> <p>◎：より表したい空間になるように、ビニルひもを新たな形に変化させようと試みている。</p> <p>◆：試しにビニルひもを貼ってみるなど、一緒に考えながら活動する。</p> <p>【思・判・表鑑】形や色、場所や空間などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの活動によって生まれた空間の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>(観察・対話・表現・記述)</p> <p>◎：自分の感じた「いい感じ」を具体的に言葉で整理することができる。</p> <p>◆：自分の見方や感じ方を深めるために、撮影した写真のよいと思っところ印をつけるよう助言する。</p> <p>【態】ビニルひもで空間を変化させる活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(観察・対話・表現・記録)</p> <p>◎：独創的、連続して、粘り強く活動している。</p> <p>◆：友人の活動を手伝う形で活動を促し、主体的に参加するきっかけをつくる。</p>
<p>整理 15分</p>	<p>5 本時の活動の振り返りをする。他の学年の児童にも鑑賞してもらう予定を伝える。</p> <p>ICT活用の利点①</p>	<p>○活動後の写真を撮影し、空間がどのように変化したかに着目して、個人の活動を振り返って学習支援アプリ(スクールタクト)に記録する。</p>  <p>〈ICT端末で活動後の写真を撮影する様子〉</p> <p>○それぞれのグループの活動場所を全員で回り、ICT端末越しではなく実際に空間の中に入るなどして鑑賞し合う。</p> <p>○他の学年の児童などにも鑑賞してもらうためビニルひもは取り外さないが、活動する中で出た細かいゴミを片付けて活動場所を整える。</p>	<p>(観察・対話・表現・記述)</p> <p>◎：自分の感じた「いい感じ」を具体的に言葉で整理することができる。</p> <p>◆：自分の見方や感じ方を深めるために、撮影した写真のよいと思っところ印をつけるよう助言する。</p> <p>【態】ビニルひもで空間を変化させる活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(観察・対話・表現・記録)</p> <p>◎：独創的、連続して、粘り強く活動している。</p> <p>◆：友人の活動を手伝う形で活動を促し、主体的に参加するきっかけをつくる。</p>

知＝「知識・技能」の知識に関する評価規準、技＝「知識・技能」の技能に関する評価規準、発＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準、鑑＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準、態＝「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準を表す。

※【記録に残す評価】は□、【指導に生かす評価】は○で示している。

6 補足

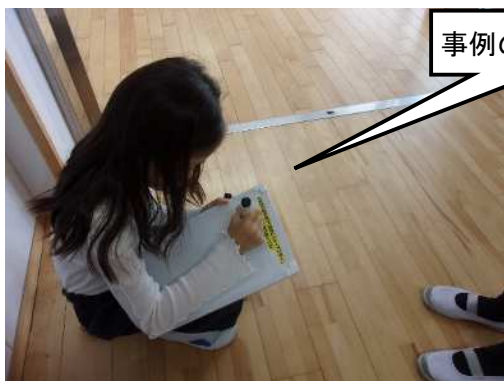
(1) 在籍児童数 33 名

(2) 事前指導

- ・ 5色のビニルひもを広げて見せ、ビニルひもという透過性の高い材料と出会う。
- ・ 校内を巡り、どの場所をビニルひもで変化させたいか各自で考える。その後、希望する場所ごとにグループを組む。

(3) 事後指導

- ・ 他の学年の児童や教員にも鑑賞してもらい、感想をホワイトボードに記入してもらう。本実践では、「彩の国教育週間」と合わせて保護者公開も行った。
- ・ 回収したビニルひもをそのままゴミとして捨てることがないように、束ねたり、編んだり、透明な袋に入れるなどして、新しい作品として活用する。



〈他の学年の児童が感想をホワイトボードに書く様子〉



〈回収したビニルひもを袋に入れ、四隅を結んで手足とし、生き物に見立てた例〉